

平成30年度不発弾等処理技能者集合訓練

第3師団（師団長 田中陸将）は、師団司令部第4部長 神藤1佐を訓練担任官として、平成30年5月15日から24日までの間、千僧駐屯地（兵庫県）及びあいば野演習場（滋賀県）において、平成30年度不発弾等処理技能者集合訓練を実施した。

本訓練は、各部隊の不発弾等処理技能者に対して練成訓練を実施し、当該技能者の識能の維持・向上を図ることを目的として行われた。

演習場で実施された実爆訓練においては、弾着地で発見される不発弾等の景況を再現教育し、実際的な知識及び処理能力を向上させた。

訓練に参加した第3高射特科大隊 松尾1曹は、「今回の練成訓練を通じ、改めて不発弾処理の危険性を再認識することができました。今後、処理を実施するにあたって自信を持って臨んでいきます。」と述べた。



雷管受領



電気雷管導通点検



弾種について説明する弾薬幹部



爆破の景況